



## 侵略戦争を正しく理解しよう！ 憲法フェスティバルを成功させよう！

アジアの人びと、日本人を悲惨な目に合わせた侵略戦争の歴史的事実は、消す事も隠すこともできない。事実を正しく受け止め、平和のために活かす事。それは、「平和のために武器はいらない。戦争はしない」という憲法9条の心を広める平和運動にとって大切だと思われまふ。今年の5・3憲法フェスティバルはそのために「平和と戦争展コーナー」と「戦争体験を聞くコーナー」を設け、平和委員会が担当することになりました。戦争体験では3人の方々をお願いしております。その内、中村恵一さんと守屋ミサさんの体験につきましては、以前に「9条の会つくば」の会報「結」に掲載されたものを転載させていただきました。当日はもっといろいろな事を聞かせていただけたらと思います。多くの方を誘ってご参加ください。

### 戦争を想う 平和を想う(その1)

中村 恵一(元人間魚雷・回転搭乗員)

私たちの少年時代には、祝日には学校で講堂正面の壇上の天皇・皇后の写真(御真影と言った)に最敬礼して君が代斉唱し、校長が教育勅語を読みあげるなど、天皇を現人神として敬う気持ちをカラダで覚えさせられました。当時の私は、天皇のために戦争で命を捧げることは大変名誉なことと信じていた軍国少年であり、それが一番の親孝行であると思っていたのです。

私は、1941年12月8日のハワイの真珠湾攻撃で、特殊潜航艇5艇に乗り戦死した9人の特別攻撃隊に大変感動し、16才で海軍甲種飛行予科練習生に志願、わずか10ヶ月(本来は1年6ヶ月)で卒業、17才で特攻隊を志望して人間魚雷・回天の搭乗員として約10ヶ月間の訓練を受けていて、18才で敗戦を迎えました。敗戦で、母親のもとに生きて帰れることになった時の嬉しさは、言葉では言い尽くせない程大きいものでした。特攻隊は、国体護持(天皇制国家を守る)のために死ぬことを考えていたわけで、両親、特に母親がどんな気持ちで子どもを軍隊・戦争に送り出したのかということは、考えてみたことがなかったのです。敗戦になってはじめて気が付いたわけです。

私の生家(長野県)では、太平洋戦争で長男(陸軍24才)と次男(甲飛11期23才)が戦死、3男(海兵団)と4男の私(甲飛13期)は無事生還しました。戦時中は4人も出征させたということで、軍国の家として信濃毎日新聞などで称賛されたよ

うです。兄たちの告別式が戦時から戦後にかけて行われました。戦後数年間、母親は薄暗い奥座敷でアルバムを開いて、兄たちの写真の上に、糸の先に小さなボタンをつけて下げるのです。そのボタンがクルクル回ると、母親はボタンが回から勝男(長男)と隼人(次男)はどこかで生きているかもしれないと、私に語りかけてきたのでした。このように、大義なき15年戦争で大事な息子たちを失った母親の悲哀は、計り知ることができない程に深く重いものでした。

私は太平洋戦争の体験者・特攻隊員として、平和憲法を守っていく上で大切だと思っていることが2つあります。

第1は、15年戦争が世界の平和を乱した侵略戦争であったことを、日本国民として自覚しきちんと反省することです。自民党を代表とする日本の政府は官僚を含めて、侵略戦争をきちんと反省しないまま戦犯体質を継承しています。その現れが自衛隊であり防衛省です。そのため新聞やテレビなどのマスコミが平和憲法の大切さを真正面からとりあげることができなかつたと思うのです。

第2は、日米安保条約などで日本政府がアメリカの言いなりになってきた誤りを正すことです。アメリカは広島・長崎に原爆を投下した国です。アメリカは戦後60年間、日本国中に軍隊を置き、ベトナムやイラクなどで大義なき侵略戦争を続けている極めて危険な存在です。我が日本国は、世界中のすべての国と友好的な関係をつくりあげ、地球上から戦争をなくすよう働きかけることが大切であり、このことが平和憲法をもっている日本の1番大事な役割だと思ひます。

<2面にも掲載>

## 歓迎!! 新入会員のみなさんです

ともに平和の声を大きく広めていきましょう。

飯野 靖子 (阿見町)

佐久間 とく (阿見町)

利根川 静江 (牛久市)

星野 文雄 (水戸市)

各平和委員会・平和の会からの仲間づくりをおまちしています。

### 憲法フェスティバル

#### 第4回実行委員会のご案内

と き：3月28日(土) 午後1時半～4時半

ところ：県立青少年会館(県立歴史館前)

討議事項：①ポスター・チラシの活用・宣伝

②賛同者・参加者のよびかけのとりくみ

③戦争体験・展示、出店など準備

④その他

\*各平和委員会(平和の会)は複数参加をお願いします。9条の会のみなさんも是非、ご参加してください。



3月14日の活動交流集会には、各平和委員会から複数参加でお願いします。参加者を県事務局までお知らせください。

## 平和かわら版

No.526  
月3回 発行  
2009.3.5

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



## 戦争を想う 平和を想う(その2)

### —私の病院船体験—

元日赤従軍看護婦 守屋ミサ(竹園在住)

私は、太平洋戦争開戦の2ヶ月前に、赤紙の召集令状を受けて広島に派遣されました。この時一緒に行った半数の人たちは、卒業を半年早く繰り上げた一年下の人たちです。看護婦の学徒動員は、男子の学徒動員より2年早く、衛生関係の準備がなされたのです。

開戦と同時に病院船に配属され、宇品港を基地として北は朝鮮の清津から南は赤道を越えたらバウルまで、中国各地・フィリピン・シンガポール・パラオ等各戦線から22往復、2年間海上看護業務に服しました。舟で一番辛かったのは船酔いです。何日も何日も荒れた日は食べた物だけでなく、胆汁や血を吐きながらがんばりました。そんな時は、自分は食べなくても患者さんには三角の一口おにぎりを作ってあげて喜ばれました。往路は、戦闘員・軍属・兵器・慰安婦(ピーさんと言われていた)・軍用犬等を輸送することが多く、これはジュネーブ条約違反であり、敵機や潜水艦の攻撃を受ける原因になり、撃沈された病院船もありました。私たちの舟も、潜水艦を避けてジグザグ運航をしているうちに日本海をどんどん北上し、吹雪のなか岩礁に座礁して海軍に救助されたり、赤道直下敵機の監視を受けながら航行し、目前で輸送船が撃沈されたこともありました。どの航海でも、精神疾患者が約1割はいました。戦争や軍隊生活のストレス・罪悪感・マラリアや Dengue 熱等の高熱によるものが多く、戦況が悪化するにつれて増えました。自殺予防の監視も重要な仕事の一つでした。

最後のラバウル航路は、ニューギニアやガダルカナル等からの人たちが多く、ほとんどの人が飢餓と全身の南方潰瘍で、戦友同士が肩を支えあって乗船してきました。舟で亡くなる人もあり、甲板の火葬の窯に石炭をくべて遺体を焼くのも看護婦の仕事でした。南十字星の瞬く甲板の悲しい作業でした。

## 平和を実感した旅

ふじしろ平和の会 館 定男

2月19日から21日まで取手九条の会が企画した「沖縄戦跡をたずねて」に参加しました。今回の内容は、沖縄南部の太平洋戦争の戦跡を訪れると共に、緑豊かな山々とサンゴの海に抱かれた辺野古大浦湾に米軍の辺野古新基地建設を阻止する人々、また北部訓練場強化のためのヘリパット建設がおこなわれている東村高江で座り込みを24時間体制で続けている人たちへの激励でした。

参加者は20名でマイクロバスの運転手さんも沖縄の地理に詳しい常総市のSさん。それに現地を案内してくださったのがしんぶん「赤旗」元那覇支局長のNさんと豪華メンバー、3日間で沖縄をほぼ一周する行動でしたが、時折、観光地にも立ち寄り充実した旅行でした。

印象というか平和の尊さを実感したのは糸数の通称アブチラガマと呼ばれている全長約270mの病院壕の訪問でした。この壕は純然たる自然壕で当初陸軍壕や住民の避難壕として使用されていましたが、戦況が激しくなる中、終戦の年の4月下旬より病院壕として1000名近くの傷病兵を収容し、その看護のためひめゆり学徒の一部も動員されました。5月下旬撤退命令が出され、自力で歩けない傷病兵は毒薬を盛られ、また置き去りにされました。その後、壕に残った敗残兵や住民たちの壕内の生活は8月下旬まで続きました。

見学はヘルメット着用、当初「そんなのいらぬよ」といっていた会員もこのような姿勢でしか入れない壕の入り口にびっくり、各々が持つ懐中電灯をたよりに恐る恐る内部に。天井には火炎放射の黒焦げの跡、爆風で飛び散ったブリキが刺さった様子が見られます。ガイドさんによるとこの壕は最近修学旅行で人気があるが今の子供たちはブリキがわからないと苦笑していました。見学の最後に懐中電灯を消し真っ暗闇の中、雫の音をバックに各自瞑想し、往時を偲びましたが、なんともいえない感じがしました。「平和の礎」では茨城県出身者の碑に花束を捧げ冥福を祈りました。

## 春発進！市民交流いも煮会

昨年12月に「旧陸軍銚田飛行場を通して戦争を考える」大型写真パネル展を成功させました。今年は春一番、交流会を企画しました。是非、お誘い合わせのうえご参加ください。

と き 3月11日(水) 10時～3時頃まで  
ところ 百里基地のど真ん中(百里平和公園)  
参加費 700円(貸切バス利用は別途600円)  
主 催 憲法九条の会・銚田準備会  
参加申込は0291-33-3193(野口)まで

.....

<学習運動委員会>

### 元航空幕僚長 田母神発言をめぐって 話し合ってみませんか

前回、話し合いが活発で時間が足りなくなりさらにもっと深く・広く話し合おうということになりました。是非気軽にご参加ください。

と き：3月21日(土) 午後1時～4時  
ところ：茨城平和会館内 県平和委員会事務局  
テーマ：田母神発言について考える・その2  
報告者：藤田 稜威雄さん(県平和委員会常任理事)  
主 催：県平和委員会学習運動委員会

.....

<内原・友部平和の会>

### 百里を語り・話し合おう 百里基地闘争学習会のお知らせ

内原・友部平和の会は、「2月の百里初午まつりにみんなでご参加しよう！3月には百里基地闘争を学ぼう」と計画を立てました。初午には参加しても百里の闘いがどんなものだったかよくわからないという事で学習会を計画しました。

と き：3月20日(金・祝日) 午後2時～4時  
ところ：内原町中央公民館 無料  
テーマ：「半世紀以上も闘い続けさせているものは何か」  
報告者：伊達 郷右衛門さん